



クラブ訪問 例会卓話

国際ロータリー2510地区
ガバナー

松浦 光紀
(小樽南 RC)

7月15日、本年度から、会員増強セミナーが地区クラブ活性化ワークショップに変わり、田中久夫国際ロータリー第1地域 ARPIC (第2840地区パスとガバナー) に講演をお願い致しました。ご参加頂き有難う御座いました。

クラブへの、ガバナー公式訪問をスタート致しました。7月18日(月)から、第1グループ 深川 RC へ訪問させて頂きました。当日は廣部地区財務委員と共に車で伺いました。第1グループの成田ガバナー補佐の出向を受け、圓浄会長、寺嶋幹事との懇談に入りました、クラブの戦略計画に基づく懇談後、クラブ協議会に於いて、各委員会の活動計画の説明を受けました。その後クラブ例会に参加させて頂き、公式訪問をスタート致しました。

ゴードン・R マキナリー RI 会長は、国際協議会において、“世界に希望を生み出そう”と訴え、“現在世界は、紛争や戦争により、社会生活の中で、メンタルヘルス、心を病む人が増えていることを受け奉仕活動を通し、どの様に援助して行くかを私達に問いかけられました。

又、私達が行っている奉仕活動について、インパクトのある内容になっているか問われています。

世界のロータリアンは、インドやアフリカでの会員増加にも関わらず、120万人を若干越える状況が続いています。このような状況の中で、ビジョン声明からクラブ運営の基本として DEI の推進を求められました。

DEI(多様性、平等さ、インクルージョン)を通し、クラブの会員は様々な職種、国籍、性別、年齢、思想等偏りは無い、多様性に富んでいるか、又、人種や職業、

学歴など差別無く入会の機会が平等に運営されているか、クラブ内の会話は風通し良く、意見を言い合える場になっているかを検証され、自由闊達な議論を今まで以上に進められるよう求められています。

又現在、多くのクラブは、30代、40代の年齢の若い会員や女性会員の割合は非常に低い状況にあると思います。年齢の若い会員の入会は、クラブ存続の上で欠かせない状況です。若い世代の勧誘に関し、力を入れて頂きたいと考えています。ローターアクト会員は国際ロータリーの年会費も職業人は8ドル、学生は5ドルとなっています。地域社会での奉仕活動を共に協力し合い、クラブの更なる発展にご尽力を賜りますよう宜しくお願い致します。

野生ポリオ根絶に向けて、6月19日現在は、パキスタンの1例、アフガニスタンの6例だけです。減少傾向にありますが、ポリオウイルスワクチン由来によるポリオ患者はアフリカを中心に増加しています。7月の中旬の1週間の期間にチャド、コンゴ、コンゴ協和国、マダラスカル、ソマリア、タンザニア、ザンビアで27例の報告がありました。世界保健機構を中心に国際ロータリー等主力団体が根絶に向け、2022~26年に26億ドルの資金援助を約束しています。5年間で3.7億人の子供にワクチン接種を行い、50ヶ国で疾病監視をする内容です。ポリオデーは10月28日です。是非参加されご協力をお願い致します。